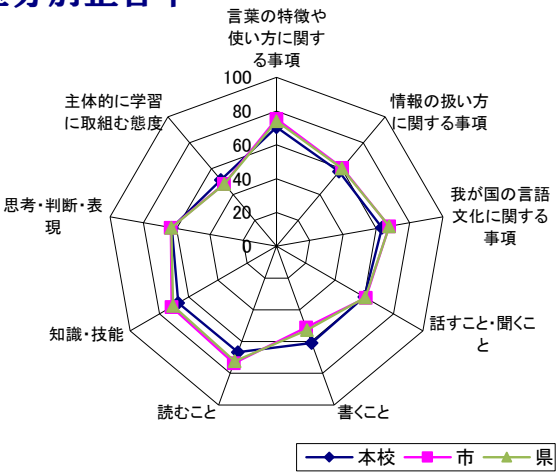


宇都宮市立桜小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.5	75.4	74.1
	情報の扱い方に関する事項	57.7	60.5	60.2
	我が国の言語文化に関する事項	63.4	67.7	67.8
	話すこと・聞くこと	60.0	61.0	60.7
	書くこと	61.0	51.2	52.8
	読むこと	66.7	73.7	72.4
観点	知識・技能	67.2	71.7	70.6
	思考・判断・表現	62.9	63.5	63.2
	主体的に学習に取り組む態度	51.2	48.2	48.1



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○漢字の読み書きについては、県の平均正答率と同程度であった。 ●文法や言葉に関する問題では、県の平均正答率が24.0%なのに対し、本校の平均正答率は14.6%であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・新出漢字や読み替えの漢字など、繰り返し練習することで習熟を図る。 ・主語・述語・修飾語を使った文の構成について復習し、短文づくりなどを通して、文の基本的な構成について、理解を深められるよう指導する。
情報の扱い方に関する事項	○漢字辞典の使い方に関する問題や調査の結果をもとに話し合う問題では、県の平均正答率と同程度であった。 ●情報の中心となる語や文を見付けて要約する問題では、県の平均正答率が64.2%なのに対し、本校の平均正答率は58.5%であった。	・説明文の内容をよく読み取り、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けられるよう継続して指導していく。また、段落相互の関係を捉えたり、理由や事例などを挙げながら話したりできるよう、読み取り方や話し方を継続して指導していく。 ・漢字辞典を日常的に活用できるよう、学習の機会を増やしていく。
我が国の言語文化に関する事項	○ことわざに関する問題では、県の平均正答率と同程度であった。	・読書の時間を活用し、ブックトークでことわざに関する本を紹介するなどして、我が国の言語文化に親しみがもてるような機会を増やしていく。
話すこと・聞くこと	○話し手が伝えたいことの中心を捉える問題及び調査の結果をもとに話し合う問題では、県の平均正答率と同程度であった。 ●話し合いの内容を聞き取り、意見の相違点に着目して考えをまとめる問題では、県の平均正答率が46.5%なのに対し、本校の正答率は36.6%であった。	・話の聞き方や話し合いの仕方のポイントをキーワードにして明確に示すなどして、話し合いスキルの向上を図るよう、指導していく。 ・各教科や学級活動などで、話し合い活動を多く取り入れ、相手の考えを取り入れて自分の考え広げたり、話し合うことで、新たな考えを見出したりすることのよさを実感させていく。
書くこと	○取材メモをもとに文章を書く問題は、県の平均正答率は53.0%なのに対し、本校の平均正答率は61.0%と大きく上回った。	・学習のまとめや振り返りを通して、自分の考えをまとめる活動を積み重ねていく。 ・読み取った内容について自分の考えをまとめる際には、どのように段落を構成して文章にしたらよいかを具体的に示し、自分の考えを順序だてて分かりやすく表現できるよう、継続して指導していく。
読むこと	○物語や説明文の内容を読み取る問題は、県の平均正答率と同程度であった。 ●登場人物の性格を読み取ったり、段落相互の関係を捉える問題では県の平均正答率が86.3%なのに対し、本校の正答率は78.0%であった。	・文章を読み取る際には、主語・述語・接続語等を意識させたり、キーワードとなる言葉に着目させたりすることで、段落の内容やまとめ、場面の移り変わりをつかむことができるよう指導していく。 ・読書の時間を確保し、幅広い分野の本に触れる機会を増やしていく。